

波影（1965）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1965/01/31
公開情報 東宝

【解説】
水上勉の同名小説を、八住利雄が脚色し豊田四郎が監督した。撮影を担当した岡崎宏三が「いちばん納得できた仕事」と言うほど、映像の美しさが際立っている。音楽は芥川也寸志が担当。
レインコートを着た女性が、雛千代の墓を見舞っている。彼女は雛千代のことを思い出していた。雛千代は本名を倉本かね子といい、自分から娼妓になりたいと柁木家を父と訪れたのだった。懸命に働く雛千代を、女将のまさは可愛がった。まさの娘である世津子も、雛千代にとってもよく懐いた。数年後、世津子の父の吉太郎が死亡。しかし除隊となり帰ってきた世津子の兄の忠志は、家業が嫌いだから海軍に入るなどと言い出す。やがてGHQによる公娼廃止令が発布されるが、母親と口論した忠志は柁木家に火をつけてしまう。

【クレジット】
監督 豊田四郎
製作 佐藤一郎
金原文雄
原作 水上勉
脚本 八住利雄
撮影 岡崎宏三
美術 伊藤憲朔
音楽 芥川也寸志
出演 若尾文子 雛千代
山茶花究 吉太郎
乙羽信子 妻・まさ
中村賀津雄 息子・忠吉
大空真弓 娘・世津子
沢村貞子 小杉イネ
大辻司郎 彦次
浪花千栄子 おうた
三島雅夫 泊の和尚
柳家小せん 繁造
春川ますみ さだ代
ロミ山田 Romi Yamada 市子
木村俊恵 照子
田武謙三 周旋人・谷山
石井富子 春子